

星天

— 水墨画への扉 —

風韻 允陸作

2026.
10.10_土 ▶ 12.12_土

関西学院大学博物館（西宮上ヶ原キャンパス時計台）〈入館無料〉
（阪急今津線「甲東園」もしくは「仁川」駅より徒歩15分、または「甲東園」駅より阪急バス5分「関西学院前」下車）
開館時間：午前9時30分～午後4時30分（入館は午後4時まで）
休館日：日曜日、祝日（ただし10月11日（月）、11月15日（月）、11月23日（月）は開館）
後援：西宮市
図版：《風韻》陳允陸 2026年


関西学院大学博物館
〒682-8501 西宮市上ヶ原一丁目1-155
TEL 0798-54-9054
<https://www.kwansei.ac.jp/museum>

星奏

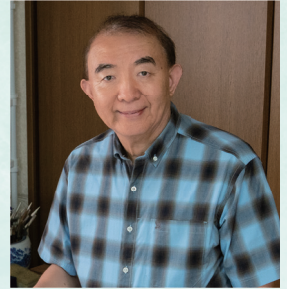
— 水墨画への扉 —

関西学院大学博物館では、展覧会を通して大学の研究や教育の成果など、さまざまな情報を発信しています。本展では文学部の授業より水墨画の魅力をご紹介します。

文学部では3年生になると、より専門分野に踏み込んだ授業を履修します。そのひとつである「芸術学実習E・F」では、実際に水墨画を描きます。この授業の目的は、技術の向上だけではありません。実技を通して水墨画の芸術性を学ぶことを大切にしています。講師を務める陳允陸は、中国の水墨画の伝統的な技法と日本画に見られる表現を融合させた独自の画風で高い評価を受けています。陳の作品から、墨と筆、そして水を巧みに用いることで生まれる、水墨画ならではの多彩な表現をご覧ください。

ちんいんりく
陳允陸

1959年、中国・江蘇省生まれ。南京師範大学美術学部で中国の伝統的画法を学ぶ。中国で見た東山魁夷の作品に触発され、1989年来日。関西学院大学大学院にて日本美術を研究する。全日本水墨画秀作展の内閣総理大臣賞(2014年)など受賞多数。現在は関西学院大学非常勤講師、南京師範大学美術学院・ハルビン師範大学美術学院客員教授、日中書画芸術交流協会会長、日本国際芸術交流センター理事長など。



I 水で描く



雨之行 2019年
掲載作品はすべて個人蔵

II 墨の響き



凜 2020年

III ところを描く



清輝 2018年

講師はすべて陳允陸氏です。

■ギャラリートーク (申込不要、参加費無料)

日時: 10月10日(土) 13時～14時
場所: 西宮上ヶ原キャンパス
時計台2階 展示室

■講演会 (申込不要、参加費無料) 「墨が語る、形とところ」

日時: 11月27日(金) 13時30分～15時
場所: 西宮上ヶ原キャンパス
大学図書館ホール
(地下1階)

朝 (部分)
2026年

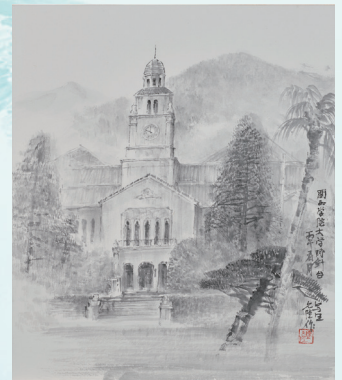


■ワークショップ (事前予約制、参加費無料)

「はじめての水墨画-芸術学実習入門」

日時: 10月30日(金) 13時30分～15時
場所: 西宮上ヶ原キャンパス 関西学院会館1階「翼の間」
参加方法:
イベント管理プラットフォームPeatixからお申込みください。
お申し込みにはPeatixアカウントの作成が必要です。
<https://kg-suibokuga2026.peatix.com>
10月5日(月) 10時より予約受付開始。
参加者上限20名。定員に達し次第、受付を終了します。

「芸術学実習」の授業スタイルで水墨画の制作を基礎から体験することができます。初めての方もお気軽にご参加ください(15歳以上推奨)。持ち物はありますが、汚れてもいい服装でお越しください。



関西学院大学時計台(スケッチ) 2026年

◇休館日

日曜日、祝日(ただし10月11日(日)、11月15日(日)、
11月23日(日)は開館)
※詳しいスケジュールは、関西学院大学博物館
ウェブサイトでお知らせしています。

◇開館時間

9:30～16:30 (入館は16:00まで)

◇入館無料

◇交通案内

電車 阪急電鉄「甲東園」駅または「仁川」駅下車 徒歩約15分
バス ・阪急電鉄「甲東園」駅から約5分「関西学院前」下車
・JR「西宮」駅から約20分「関西学院前」下車



時計台内部の

アイアンワーク復元プロジェクト実施中!

【関連イベント開催】※申込不要、参加費無料

「時計台の装飾をめぐる15分」

アイアンワーク復元プロジェクトの一環として、学芸員が時計台に見られるさまざまな装飾を通して建物の歴史についてご紹介します。
日時

2026年10月14日(日)、11月11日(日)、
12月9日(日) いずれも 13:00～13:15

*1階ロビーに集合してください。



詳細はこちら



関西学院大学博物館
〒662-8501 西宮市上ヶ原一丁目1-155
TEL 0798-54-6054
<https://www.kwansei.ac.jp/museum>